

しのめ祭り ～「だれか」のために～



昨年はお客さん側で楽しみましたが、今年は初めての店出しとなった「しのめ祭り」。自分たちの東雲小学校、その148回目の誕生日をお祝いする日にふさわしいお店は何か、みんなで考えながら準備しました。

下級生や上級生、お家の人や実習の先生、そしてこれまで東雲小学校で生活し卒業していった「東雲家族」…そのだれもが笑顔になる、そんな素敵な一日になるように。クラスで協力しながら、一人一人が自分の出来ることに精一杯取り組んで、当日を迎えました。

「だれか」を想い、その人の笑顔のために尽くせたとき、その喜びや楽しさはきっと、お客さん側としてのみ参加した去年より大きなものになったのではないかと思います。そして、そう感じられる心を、これからもずっと大切にしていきたいと願っています。

